白河二中だより

ＮＯ．　３
２０２２．　４．１５
白河市立白河第二中学校
発行責任者　　小野　聡

あいさつを交わす







「おはようございます。」
「こんにちは。」
校内を歩いていると、子どもたち同士、そして、子どもたちと教職員が、さわやかにあいさつを交わしている場面をたくさん目にすることができます。
子どもたちは、家庭でも、小学校でもあいさつを交わすことの大切さを様々な場面で伝えられてきたことでしょうし、また、本校の生徒会役員８名による「あいさつ運動」が、その習慣をより意識付けているのではないかと思います。
役員の皆さんによると、入学したときから既に卒業した先輩方が運動を展開していたといいます。その伝統を守っていることも素敵ですが、暑い日も寒い日もあいさつ運動を続けていることも素晴らしいことだと思います。
地域の方からは、「あいさつが以前よりとても良くなったんだよ。」という言葉と「もう少し元気にあいさつができるといいね。」という感想もいただいています。
生徒の皆さんには、通学途中に会う近所の方々、特に毎日、安全を見守ってくださっている方々に「ありがとうございます。」という感謝の気持ちを込めて、「おはようございます。」の言葉を届けてほしいと思います。



「こどもの読書週間」期間



「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が２００１年１２月に公布・施行されました。それ以来、国や自治体が読書推進に関する様々な取り組みを進め、４月２３日が「子ども読書の日」、５月１２日までが「こどもの読書週間」と定められました。
白河市も重要教育施策の一つに「読書活動の充実」を掲げており、各校の読書環境の整備や読書の習慣を育むために学校司書を配置してくださっています。本校の鈴木千彩子先生は知識も豊富で、以前理科室だったとは思えないほど環境も整えてくださっています。月・火・木の３日間ですが、図書室で千彩子先生とたくさんの本に出会ってほしいと思います。
ご家庭でも、今まで以上に「読書」を話題とし、ＧＷには、保護者の方々が感動した本をお子さんに紹介したり、一緒に読んだ本の感想を語り合ったりしてはいかがでしょうか。